



我らの泉鳥取

危機一髪！！ 連係プレーで人命救助

泉鳥取高校の生徒は、昔から人懐っこく、弱い人に親切という生徒が多いという印象が、先生方や就職先の企業でよく語られます。平成19(2007)年4月、泉鳥取高校に入学した直後の32期生が、なんと和泉鳥取駅で人命救助をして、JR西日本、大阪府から表彰されました。

平成19(2007)年4月18日(水)の午後3時50分、下校しようとした1年生の西出知浩さん、葛原哲弥さん、太田純文さん、大野由承さん、塩崎雅和さん、西村太一さん(32期生)がホームで電車を待っていると、ホームを歩いていた重度の知的障がいのある人が突然の病気発作によりホームから転落しました。

6人のイズトリ生は、一人は緊急停止ボタンを押し、4人が線路上に飛び降りて持ち上げ、一人はホームの上から引き上げ、一人は119番通報したうえで、全員電車が来るまでにホームに戻りました。しかし、ホームに入ってくる電車が快速で和泉鳥取駅を通過するため、緊急ブレーキを掛けましたが、ホームを過ぎてから停車、もし彼らが線路上に降りて助けていなければ、この人の命はなかったのです。特に役割を決めていたわけではないですが、とっさの判断で見事な連係プレーを見せました。

電車が入ってくるときに線路に降りることは非常に危険です。しかし彼らは冷静に人を助け、自分たちも戻ってきました。この行動について、JR西日本から人命救助の感謝状をいただき、さらに大阪府知事表彰を受けました。



平成19(2007)年5月21日 大阪府知事表彰
副知事とともに記念撮影 大阪府庁本館



平成19(2007)年4月20日 産経新聞